

## 特定再資源化等物品関係検討タスクフォース / 小委員会合同会議の位置付けについて

### 1. 位置付け

自動車リサイクル制度の詳細を検討するにあたっては、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルワーキンググループと中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会自動車リサイクル専門委員会との合同開催を行うが、特に専門的分野については、産業構造審議会の自動車リサイクルWG及び中央環境審議会の自動車リサイクル専門委員会の下にそれぞれ以下の2つの組織を設置し、合同開催して検討を進めることとする。

- (1) 特定再資源化等物品関係検討タスクフォース/小委員会（座長：永田勝也早稲田大学教授）
- (2) 許可基準等検討タスクフォース/小委員会（座長：酒井伸一国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長）

### 2. 主要検討事項

特定再資源化等物品関係検討タスクフォース/小委員会の合同会議においては、自動車製造業者等が引き取ってリサイクルする品目（特定再資源化物品）に関して、以下を主要な課題として専門的検討を行うこととする。

#### ・シュレッダーダスト

- －リサイクル率の具体的な水準（使用済み自動車リサイクルイニシアチブとの整合性を含む）
- －サーマルリサイクルの定義・水準の考え方
- －リサイクル実施率の考え方
- －適正な施設、引取体制等 等

#### ・エアバッグ類

- －指定回収物品として政令指定するエアバッグ類の具体的定義
- －リサイクル率の考え方 等

これまでのリサイクル率（自動車以外も含む）の考え方の整理、リサイクル技術・施設の状況、諸外国における動向等を踏まえつつ検討。

### 3. 検討スケジュール

本年10月に第1回合同会議を開催して検討を開始。1月に1度程度開催して平成15年春までを目途に取りまとめを行うこととする。